

ごあいさつ

校長 久保田範夫

安積高等学校弦楽合奏部の第8回定期演奏会にご来場いただきまして、誠にありがとうございます。

本日は、映画「もののけ姫」から「アシタカせっ記*」やモーツァルトなど、私たちがよく耳にする曲をメインに演奏すると聞いておりますが、部員達は日頃の練習の成果を十分に発揮してくれると期待しています。（*「せっ」は、本来「草冠+耳」と表記する宮崎駿監督の創作漢字で、「草に埋もれながら耳から耳へ語り継がれていく伝承・物語」という意味を表すそうです。）

弦楽器は、私たちの感性に直接訴えかける音色を持っていると思います。私は、バイオリニストについてほとんど無知に近いのですが、30年以上前、偶然手にした若きギドン・クレーメルが弾くバッハの無伴奏ヴァイオリンのためのソナタとパルティータ(BWV. 1001-1006)は、聴くたびに鳥肌が立ちます。（因みに、私はCD（デジタル）ではなく、アナログのLPレコード盤で聴いています。）

あるバイオリニストが「音楽は「時間芸術」であり、演奏を聴いていただくというのは、同時にその人の貴重な時間を頂く行為でもある」といった趣旨の話をしていますが、本日は、皆様の限りある時間のほんの少しだけ本校弦楽合奏部に頂き、多様な音を奏でる弦楽器の魅力を体感していただければ幸いです。

最後に、本校弦楽合奏部への今まで以上の御指導・御支援をお願い申し上げ、ごあいさつといたします。